

⑤学習課題（中学校2年生）

【数学】

<内容>

数の性質を、文字式を用いて説明しよう。（教科書 P28～29）

～偶数と奇数の和は、偶数と奇数のどちらになる？～

<取り組み方>

① (偶数) + (奇数)は偶数、奇数のどちらになるか予想してみよう。

② m 、 n を整数とすると、偶数と奇数はどのように表せますか。

③ ①で予想したことが正しいことを、文字式を使って説明しよう。

※「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。

④ これまで学んだことをふりかえり、次の㉗～㉙について文字を使って表してみよう。また、どうしてそのように表せるか、「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）

㉗ n を整数としたとき、連続する3つの整数

㉘ 十の位の数を a 、一の位の数を b としたとき、2桁の自然数

㉙ n を整数としたとき、3の倍数

<学習のヒント>

① $2 + 3$ や $10 + 15$ 、 $(-4) + (-7)$ など具体的な数で考えたとき、計算の結果が偶数と奇数のどちらになるか調べてみよう。

② 偶数は2でわりきれぬ数、つまり2の倍数なので、 $2 \times (\text{整数})$ と表せます。

奇数は2でわりきれぬ数、つまり2でわると1余る数なので、偶数に1を加えた数と考えることができます。

余裕のある人は、どうして m 、 n の2種類の文字を使う必要があるか、考えてみよう。

③ 教科書 P29 の問6を参考に説明してみよう。

④ 教科書 P26～P27 を読み、考えてみよう。

㉗ 連続するということは、次の数は前の数からいくつ増えるでしょうか。

㉘ 例えば、十の位の数が5のとき、この5はどんなことを表しているでしょうか。

㉙ ②で偶数をどのように表したかを参考にしてみよう。